

審議会等の会議結果報告書

課所名		生涯学習課
会議名	令和7年度第2回諏訪市子ども読書活動推進委員会	
開催日時	令和8年2月20日(金)午後2時00分～3時00分	
開催場所	諏訪市図書館 第1会議室	
出席者	(出席委員)竹内委員長・八代委員・村瀬委員・両角委員・ 飯田委員・加藤委員・ (欠席委員)矢崎副委員長・上田委員・立木委員 (事務局)三輪教育長・細野教育次長・小林生涯学習課長・茅野図書館長・宮坂主査 (オブザーバー)今井教育委員	
資料	第4次諏訪市子ども読書活動推進計画に基づいた令和7年度活動の実施報告等	
協議議題(内容)及び会議結果(要旨) <協議事項> (1)「第4次諏訪市子ども読書活動推進計画」に基づいた令和7年度活動の実践報告 (2)「第4次諏訪市子ども読書活動推進計画」に基づいた令和8年度活動の予定 <主要意見> ○市図書館での「子どもが取り組む読書活動の充実」では、『マイ本棚をプロデュース』という名称で、利用者が自分の好きな本や紹介したい本をコーナーを作って展示する企画を行っている。 ○来年度は、学校だけでなく、保育園にも多言語の絵本などの貸出をしていきたい。 ○小中一貫『夢スクールプラン』の南部地区の取り組みを進めている。南部三校の四賀小学校・中洲小学校・諏訪南中学校、それぞれの図書委員会がおすすめ本をポスターで紹介し合いながら交流をしている。 ○3年前から風樹文庫の運営委員会製作の二つの紙芝居を子どもたちが受け取り、地域の方や全校に伝える活動を行っている。上演の様子を電子メディアに記録し、それを市内の学校で上映したり、地域の方を招いて学習会を開いたり、そんな活動が広がっている。 ○図書委員が紙芝居の読み聞かせを毎月1回金曜日に行っている。「みんなで本を読む日」の放送を行ったり、放送で呼びかけたりしている。中国語や英語でおはなし放送をする機会もある。 ○普段本や展示は図書館の中で飾っているが、実験的に館外の廊下に出してもらった。図書館は、本校だと通路から離れたところにあるので、みんなが見れるような場所にコーナーを設置できた。 ○AIの活用について。例えば、先生方の読書紹介などで、アナログのものは温かみがあっていいのだが、ポスターなどは手間のかからないように、AIを使って質と量を上げていければと思う。もちろん司書の先生が温かい雰囲気を出しているのが、バランスを取りつつ、活用できればと考えている。 ○「おすすめ本ブックリスト」の小学校・中学校のものを、来年度に向けてリニューアルしたい。また、風樹文庫コーナーについても、リニューアルしたいと考えている。 ○図書館の本の利用を働きかけるも、時間がないと言われ、タブレット使用が多い。どのように本と共存させていくのかということが、来年度の大きな課題。 ○乳幼児や園児の読書活動において、保育園の力はとても大きいと感じる。また、読み聞かせボランティアの方々には、本当にありがたいと常々思っている。 ○AIの活用については、その功罪をよく考え、どこでAIを使い、どこで人に読ませるのか、考えることが必要。		